

公表	保育所等訪問支援事業所における自己評価総括表
----	------------------------

○事業所名	ユニバースゆず		
○保護者評価実施期間	令和7年2月1日		～ 令和7年3月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	令和7年2月1日		～ 令和7年3月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間	令和7年2月1日		～ 令和7年3月15日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	2～3名の職員で固定している。	訪問先と連携をしっかりと取ることができるようにしている。	職員間の共有連携は当たり前だが、どの職員が訪問しても同クオリティーでの支援ができるよう勤める。
2	細かくアセスメントを取り、訪問時の様子を丁寧に保護者へフィードバックしている。	利用者の様子だけでなく、全体から見た時の個人の様子を細かく保護者へフィードバックしている。	訪問先と保護者の担当者会議を行い、課題の共有を行っていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問先とのコミュニケーションを取る時間が少ない	先生方が忙しく時間が取れないことがある	予め電話で様子の共有や、訪問先にフィードバックを行うことで連携を図る。
2	事業開始から日が浅い。	「保育所等訪問支援」の保護者ニーズはあるが、訪問先の状況により、訪問受け入れに難色を示すなどがある。	本事業の意図をわかりやすく明確に伝え、学校や園との円滑なやり取りができるように、関係性を構築する。
3			